



## ヒューズ用語

## 定格電流：

定められた一定条件下（各ヒューズの電気的特性）での通電可能な電流値を表わします。  
（注意：使用条件＝環境により通電可能な電流値は異なりますので、定格電流と通電容量が必ずしも一致するわけではありません。）

## 定格電圧：

最大使用電圧のことを表わします。定格電圧以下においてヒューズが安全、かつ確実に定格短絡電流を遮断できることを示すものです。また、ヒューズの定格電圧は遮断定格（遮断容量）により決まってきます。

## 遮断定格：

遮断容量（ブレーキング・キャパシティ）または、短絡電流（ショートサーキット）とも言います。これは、ヒューズが定格電圧において安全に回路を遮断できる最大電流を意味します。また、安全な動作に必要とされる最大電流とは、ヒューズに損傷（破裂、及び破損）等がなく、かつ回路に障害を与えずに遮断できる電流のことを意味します。各ヒューズの遮断定格は、取得規格により異なります。

## 電圧降下：

ヒューズに定格電流を通電した時にヒューズの両端にかかる電圧のことで、通常 mV 単位で表します。

## ヒューズの寸法例

## &lt;管形ヒューズ&gt;

名 称	サイズ	直径 φ (mm)	全長 (mm)
ガラス管・セラミック管タイプ	4.5×15	4.50	15.00
ガラス管・セラミック管タイプ	5.0×15	5.00	15.00
ガラス管・セラミック管タイプ	5.0×20	5.20	20.00
ガラス管・セラミック管タイプ	6.3×30	6.35	32.00
ミゼットヒューズ	13/32"×1-1/2"	10.30	38.10

## &lt;表面実装型ヒューズ（チップヒューズ）&gt;

名 称	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)
0402 (1005)	1.0	0.5	0.35
0603 (1608)	1.6	0.8	0.50
1206 (3216)	3.2	1.6	0.60
6125	6.1	2.59	2.59

## &lt;リード型ヒューズ（ディスクリートヒューズ）&gt;

名 称	全長 (mm)	ボディ長 (mm)	ボディ厚 φ (mm)
アキシアルリード	52.00	7.0 ± 1.0	2.5 ± 1.0
ラジアルリード	26.60 (高さ)	8.5 ± 0.3	4.0 ± 0.3

## 寸法：

## 溶断特性：

時間-電流特性のことを示します。ヒューズの溶断において、規定された過電流を通電した場合、電流と可溶体が溶断するまでの時間の関係を表わします。これをグラフにしたものが溶断特性曲線です。（I-t カーブ）

## ヒューズの特性：

ヒューズの中には、以下のように基本的に溶断特性の異なるヒューズが存在します。これは、ヒューズが使用される電気機器に様々な仕様が存在する為であり、ヒューズも各々の仕様に合ったものが必要とされ使い分けられています。（ヒューズ特性は安全規格によって定義が異なります。）

- |                      |   |
|----------------------|---|
| ① 速断型（普通溶断型）         | — 早く溶断するタイプ。                              |
| ② セミタイムラグ            | — 速断型（普通溶断型）より遅く溶断する耐ラッシュタイプ。             |
| ③ 遅延型（タイムラグ、タイムディレイ） | — 最も遅く溶断するものでラッシュ電流（突入電流）に対する吸収力が最も高いタイプ。 |

## 周囲温度：

周囲温度とは、ヒューズ使用時におけるヒューズを取り巻く雰囲気温度のことを表わします。（ヒューズの使用される室温と周囲温度とは異なります。）

※ヒューズ使用回路の雰囲気温度はヒューズの特性に影響を及ぼす為 ヒューズ選定の際には、温度デレイトィングを考慮することが不可欠です。